

実践記録 シリーズ 65

子育てサポーター養成講座 ～1人で悩まず子育てサロンへいらっしゃい～

亀田町教育委員会生涯学習課主任 枝並素子

1 「あそびの広場」開始

亀田町は新潟市への交通アクセスが非常に便利なことから、結婚を機に亀田町で生活を始めている若い夫婦も多くいるようです。そのような夫婦が子どもを産み、育てる中で、特に母親が子育てにおいて孤立し、育児不安になっていることが問題視され始めました。友だちづくりや情報交換の場を求めている母親に、紹介する場が亀田には何もないと母子推進委員から報告がありました。それがきっかけで、従来の育児相談を「相談がなくても親子でいらっしゃい」という形の「あそびの広場」に変えて平成10年4月から始めました。

開始直後は20組弱でしたが、冬期間は外に遊びに行けない等の理由で利用が増え、80組約160人が参加することもありました。原因は、町内では1カ所しかそのような空間がないため、同じ子育て中の身として何とかしたいという気持ちがありました。

2 「子育てサポーター養成講座」の立ち上げ

平成14年4月に、教育委員会生涯学習課の事務室が役場本庁より町民会館へ移動になりました。生涯学習課管轄にかわったことで、館が何かと利用しやすい状況になりました。そんな折、公民館月報の実践記録シリーズで新潟市東地区公民館の「子育てサロン」事業の記事を読み、まさにこれだ！と

平成15年度 生涯学習事業計画			
回	日時	内容	講師
1	5/13 (火)	ゆるやかな関係づくり (初対面の方との接し方)	
2	6/3 (火)	コミュニケーション法	
3	6/24 (火)	カウンセリングマインド	
4	7/8 (火)	子育て支援とは (子育て支援の施策や目的、 現在の子育ての環境・状況・ 母親の悩み)	亀田町 保健師
5	7/22 (火)	子どもを育てる上で、男女 の差なく個性を大切にしま しょう！ 人権の基本を学ぶ	
6	9/2 (火)	私が考える子育て支援 Part 1 (ワークショップ形式)	生涯 学習課 職員
7	9/16 (火)	私が考える子育て支援 Part 2 (ワークショップ形式)	生涯 学習課 職員



熱心な討議

思い私のサロン開設に向けての意欲が高まりました。

「あそびの広場」は保健師、管理栄養士などが参加して開かれています。それに対し、子育てサロンは現在子育て中の母親の気持ちや状況を理解できる、子育ての先輩としてのサポーターが常駐しているものにしたと考え、養成講座を立ち上げました。

3 講座スタート

19人の受講生とともに、第1回目「ゆるやかな関係づくり」がス



成果の発表

タートしました。その中で、この講座への参加動機を話す機会があったので受講生の声を紹介します。

★自分の時の子育ては、友達がいなく孤独で不安でした。そんな人がいたら助けてあげたいから。
★自分の子どもたちが小学生になって、少し楽になったので何かしてみたかったから。

アイスブレーキングを交えて、まず受講生の心身をほぐしながら受講の動機を聞くことで、講座の目的を共通認識することができたように感じました。

第2・3回目はサポーターの大切な役割は、母親がサロンを通じてリフレッシュしてもらうことなので、相手の話をよく聴く、話を引き出してあげる方法を学ぶため「コミュニケーション法・カウンセリングマインド」を設定しました。人の話を聴くのは、難しいというのが受講生の感想でした。

第4回目は、町の子育て支援の現状について保健師より話を聞き、9月に入るとワークショップをしながら、サロンの重要性、サロンに必要なものを考える予定です。

4 サロン開設に向けて

11月に町民会館が新装オープンしてから、12月にいよいよ月1回のサロン事業を始めたいと思っていますが、そのころまでに何名サポーターとして残っていてくれるかが不安です。最初から子育てサロンありきで考えるのではなく、子育て中の親子とサポーターが互いに支えあい、生き生きと活動できるようなサロンになってくれればと思っています。